

本年のまとめと来年への希望 その7

402号までで、本年は終了いたします。明日から令和2年が始まりますが、403号から500号まで、3月31日に向け、最後の直線を走りぬく所存です。

この直線は、それでも、約百日という長い直線なので、あと3年分くらいの時間の密度を込めて走りたいと思います。

年明けから課外がありますし、授業も始まります。センター試験がすぐそこに迫っています。センターを終えると自己採点と前期試験と中期試験と後期試験の受験大学の選定、並びに私立対策と2次試験対策、その間卒業式の準備と卒業式の挙行。

終われば新しい高校入試の前期試験。合格発表すると、もう3月のお彼岸になり、3月27日に辞令を交付され、3月31日が来るでしょう。

その間、様々なことが予想され、日本列島をくまなくあちらこちらと駆け歩きます。北海道から博多まで行脚すると、100日なんてあっという間です。

東京オリンピックやパラリンピックも控えております。4月から自分が何をするのかもまだ決まっておりませんが、走り続けていくことは確かだと思っています。

まさしく、きっと令和2年は、新しい自分へのターニングポイントとなるでしょう。今からワクワクします。生徒たちも頑張ってくれるはずです。

障がいとせず、壁を壁とせず、扉をつかんでこじ開けながら、壁によじ登り乗り越えながら、その先をまた走り続けることで、新たなるハードルさえもひらりと飛び越えていきましょう。

こういう時こそ、充実感を覚え、やることなすこと大きな活力となって、活力が活力を生み、100キロだって200キロだって走ることができると考えます。

かつて少年だったころ、1日中ずうっと山や田んぼを駆けまわっても疲れることを知らなかった時を思い出し、二十歳のころ、一晩中かけて、府中から調布まで京王線のレールをあるいた時を思い出し、休まず倦まず、とことん走り抜けることができれば自分のアイデンティティもこの上なく深まると考えております。

新しい年を迎えるにあたり、磐城高等学校関係の皆様、皆様の弥栄を心から祈り念じております。生徒諸君、保護者の皆様、同窓生の皆様、地域の皆様方、また来年も磐城高等学校をよろしくお願い申し上げます。

焦らず慌てずあきらめず、明日を信じてまいります。それでは、よいお年をお迎えください。